

研修会報告

平成 28 年 6 月 29 日

文責：血液部門員 佐々木麻美

血液部門研修会

研修会テーマ「血液検査のベーシックを固めよう！」

開催日時 平成 28 年 6 月 25 日 13:30～17:00

会場 東北大学医学部保健学科大講義室

【内容】

1. 「平成 27 年度宮臨技画像サーベイのフォローアップ」

仙台医療センター 伊藤 貴美技師

2. 「新人血液検査技師のための入門 CBC –自動血液分析装置のデータ解釈～精度管理–」

シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

テクニカルサポートセンター 浅沼眞佐英先生

3. 「血液像の見方 判断に悩む細胞の鑑別ポイント」

ベックマン・コールター株式会社ダイアグノステックス

マーケティング部門 ヘマトロジー担当 清水宏伸先生

生涯教育点数 専門 20 点

参加者 会員 52 名、非会員 1 名、賛助会員 1 名、実務委員 5 名 計 59 名

今回の血液部門研修会は「血液検査のベーシックを固めよう！」をテーマに開催した。はじめに、昨年度の宮臨技画像サーベイの解説を行い、形態判定のポイントを再確認していただいた。「新人検査技師のための入門 CBC」では、自動血球計数装置の原理からデータ解釈のポイントを解説後、実際の検査データ 3 症例から考えられることとその対応について具体的に提示していただいた。初級者には測定原理を理解し、検査データを解釈するために有益な内容であり、中・上級者には「血小板凝集に対するボルテックスミキサーの利用」をはじめ、日常検査で実施している手技に関してその有用性等再確認する機会となった。「血液像の見方 判断に悩む細胞の鑑別ポイント」では、鑑別対象となる細胞の画像を提示していただき、判別所見をあげながら具体的に解説していただき、初～上級者まで形態観察のポイントを確認することができた。

当日は目標を上回る 59 名の参加をいただいた。「血液検査のベーシックを固めよう！」がテーマだったため、全体を通して初心者から理解しやすい内容であったが、CBC、血液像ともに臨床へ質の高い報告をするために有益な内容であり、日常検査に生かしていけるものと考えられた。次回も参加者の方に興味を持ってもらえる、またスキルアップに役立つ内容の研修会を企画したい。